

横芝ふれあい券

取扱店舗等追加募集!

商工会では、個人消費の喚起・地域経済の活性化を図り、地域の振興に資することを目的として、横芝ふれあい券（横芝町商工会が発行する期限付商品券）を発行します。町のご協力により、今年度も敬老祝品等として本商品券を利用して頂くことになりましたので、取扱店の追加募集をします。

▼店舗等の登録資格

町内において、小売業、飲食業、洗濯・理容・旅館・医療等の各種サービス業及び運輸通信業（旅行業を含む）を営む事業者。（個人・法人は問いません）

▼登録の申込み方法

取扱事業者の登録を希望する者は、「横芝ふれあい券取扱事業者登録申込書」に必要事項を記入の上、横芝町商工会に提出して下さい。（申込書は横芝町商工会にあります）

尚、前回までに登録申込書を提出されている事業者の方は再登録する必要はありません。

▼募集期限

8月26日(金)
（受付時間 9:00～17:00）
※特定事業者の登録をして、登録許可書の交付を受けた者以外は「横芝ふれあい券」を取り扱うことはできません。

※問い合わせ先
横芝町商工会

☎ 82-0434

文芸

俳句

横芝俳句栗江会

螢見物しにせ旅館の園庭に

暑中見舞早々届く名産品

長谷川正子

夏見舞夫に従ふ郷の門

老夫婦手を取り合ひし夏木立

今関満喜子

七夕のまつりもたのし国際化

浅間さま花火は六時雨の中

桑名 大行

花合はせかばちや畑の朝仕事

梅雨寒や老いの生活の所在なく

若梅あやめ

小雀のとび交ふ枝や夏木立

贈りもの添へ書もあり夏見舞

福田 幸子

夏木立師の句碑ありてひと休み

暑中見舞とれたて野菜と娘の笑顔

選者 藤代 ゆう

お詫びと訂正

7月号の俳句の欄

合併は目出度く決まり青春を待つは合併は目出度く決まり来春を待つのは誤りです。お詫びして訂正します。

ひこばえ俳句会（互選句）

梅雨最中逆縁の人送る野辺

浅野 茂子

通される新居の庭の山法師

池田 逸子

宮薙ぎの夏の草刈る氏子かな

伊藤 敬子

蟻地獄鐘撞堂の住み心地

川島 孝夫

小判草福呼ぶごとく揺れにけり

向後 寛

梅雨の傘とつと渡れる信号機

小松 藤男

足のばし湯舟よりみる桐の花

佐瀬 輝夫

エンジン音ひびき夏草刈られおり

布施 和代

南瓜蔓思い思いに手をのばし

若梅あやめ

忠敬の眠る古刹や不知婦

渡部 和秋

磯端にしじみ売りいる老爺いて

上総 晴子

傍に子犬が守るがにをり

永藤 滋

一面に稲の伸びゆくその間に

吉岡 信子

水張田のままの休耕田あり

よべの雨に霧たち籠めし杉森の

田崎 尚美

上ゆく鳶の見えつ隠れつ

竹の葉が宙にひとひら舞ひてみつ

田崎 尚美

短歌

きざはしも廊にも漆の塗られぬて
加賀のお茶屋は餐を極めつ

秋葉 悦子

陽を追ひて咲きてゆくくらし浜屋顔
皆一様に南に向けり

芹川 初子

年取ると軟骨減るとう吾が膝も
立居億却になりてきにけり

鈴木 やす

ひもすがら歌纏めむとことば選り
つひに一首の立ち上がりたり

萩原 信一

年経たる櫛の木覆ふ苔あまた
五月の雨に青み深めつ

佐瀬 初音

くつきりと浮ぶ綿雲早苗田に
より鮮やかな影を落せり

八角 三枝

リハビリを始めし友が病院の
廊の手摺りを握りて歩む

池田 春江

梅雨どきの伸びまじき草を引く
強き根ばりは土を離さず

押尾 輝子

旅に行くわれの姿に首傾げ
隣のジョンちゃん尾を振りくるる

西山満里子

あかときを鳴く鶯の声に覚め
今日を始むと立ち上りたり

長谷川正子

日本のさいごの朱鷺も命終へ
剥製となり飾られぬたり

選者 斎藤つね子

